

## こんな時代だからこそ 絆を大切に

昨春は新型コロナウイルスの影響で学校が続き、子どもたちにとっても不安な日々が続きました。通常の登校に戻り、以前と変わらず元気に通う子どもたちの姿を見て宮下さんは安堵する一方、コロナ禍における誹謗中傷など、人の絆が薄れてきていると感じて心を痛めることも。「お互いを信じ、心の内を察することができるよう、あいさつを中心に広がっていくことを大切にしたいです。こんな時代だからこそ言葉を交わし、心を交わして、まとまっていくといいと思います」



## 子どもたちとの触れ合いが やりがい

宮下さんにとって、春の芽吹き、紅葉、雪景色など、眺める季節の移りもウオーキングを続ける楽しみの一つ。もう一つの楽しみは、子どもたちとの触れ合いです。

「低学年の子どもたちは元気いっぱい、遠くからでも声を掛けてくれます。高学年の子どもたちも優しい笑顔であいさつしてくれますね」

夏には男の子が「神社にカブトムシがいたよ!」と教えてくれたり、「朝、摘んできたの」と朝顔の花を手渡してくれた女の子も。路上に落ちてしまった鳥のヒナを見つけた中学生に「どうしよう」と相談されて、一緒



## 「地域の宝」である 子どもたちを守りたい 宮下明子さん



昭和21年、木曾郡大桑村生まれ。高森町下市田在住。長野県内の公立小学校に教諭として勤め、平成17年に退職。町の子ども会育成会や安全共済会にも携わり、平成22年から平成28年までの6年間、民生委員を務める。

に悩んだこともありました。

「歩数計に興味を持ってのぞく子や、自分の持ち物について一生懸命話してくれる子どもいます。子どもって本当に面白いですね。はじめは子どもたちが元気で明るく過ごせたらという思いで活動を始めましたが、今では逆にエネルギーをもらっています」

## 「小さな見守り」が 大きな力につながる

みまもり隊として、やりがいを持って活動に取り組んでいる宮下さん。自身の経験も踏まえてこう呼びかけます。

「できる限りで良いのですが、子どもたちの登校や下校の時間に合わせて、家の前からも『おはよう』『おかえり』と声を掛けてくださる方が増えたらうれしいですね。そうすれば、高森町がもっと明るく安心して過ごせる地域になるのではないのでしょうか」

庭の手入れ、玄関の掃除、農作業など日常活動を送りながら子どもたちに目を配るのも立派な活動の一つ。たとえ小さな見守りでも、集まれば大きな力になります。

「子どもたちは地域の宝であり、高森町の宝。できることは続けて守っていきたくたいです」。そう話す宮下さんの言葉からは、町の子どもたちを大切に思う気持ちがあふれていました。

## 飯田地区防犯協会連合会長 飯田警察署長の連名表彰を受賞

今回取材させていただいたお二人を含む「柿丸みまもり隊」の14人は昨年12月、飯田地区防犯協会連合会長・飯田警察署長の連名表彰を受賞しました。同分野での受賞は町内でも初めてのこと。飯田地区防犯協会連合会の総会で開かれる表彰式が新型コロナウイルスの影響で中止となったことから、町は独自の伝達式を開き、隊員の皆さんへ感謝の意をお伝えしました。

登下校時に子どもたちを見守り、あいさつや声掛けをすることで、「コミュニケーション」が生まれ、地域の絆が深まります。また、犯罪をたくらむ人はあいさつが行き交う連帯感のある地域では犯罪を起さにくく、犯罪の抑止にも効果があるといわれています。子どもたちが安心して過ごせることのできる地域をつくるため、今後も皆さんのご協力をお願いします。



## 見守りウォーキングで 心も元気に!

ハキハキとした言動と明るい笑顔で、周囲を元気にしてくれる宮下明子さん。そんな宮下さんが見守り活動を始めたのは8年ほど前のことです。保育園へ通うお孫さんの送り迎えをきっかけにウォーキングを始め、南小学校まで足を伸ばしているうちに、自然と子どもたちとあいさつを交わし合うようになりました。

柿丸みまもり隊へ入隊したのは、活動を始めてから数年後のこと。「登下校時に不審者が出たという話を聞き、うかつに声を掛けて子どもたちを不安にさせてはいけないと考えました。みまもり隊の帽子をかぶり、防犯チョッキを身に付けて歩けば、子どもたちに安心してもらえると思ったんです」

朝は6時40分に自宅を出発し、萩山神社でお参りしてから小学校へ向かいます。7時10分ごろ、校門付近で一番早く登校する児童に声を掛けてからUターンし、自宅方面へ。すれ違う子どもたちに「おはよう」「いってらっしゃい」と声を掛けながら歩くのが宮下さんの日課です。

「歩数計で数えると6000歩、時間になると一時間ほど歩いていきますね。大変だなと感じることもありますが、健康のためにもなるべく毎日続けるよう心掛けています。それだけ歩くと体もあたたまって、エンジンがかかるといって笑顔が浮かべます」



表彰の伝達式に参加された「柿丸みまもり隊」の皆さん

## 活動に興味を持たれた方

ぜひ一緒に、柿丸みまもり隊として  
町の安全を守りましょう!

登録された方には、町から防犯チョッキ帽子、ステッカーをお渡しするほか万が一の場合の備えとして町でボランティア保険に加入します。

問い合わせ先  
教育委員会事務局 社会教育係 ☎ 35-9416